

海岸防災林の今後の防除について

1 海岸防災林の現状と課題

東日本大震災からの復旧により、造成された海岸防災林は、植栽してから10年を超える箇所等があり、マツ林としての成林化が進んでいる。

一方で、少数ではあるものの、松くい虫被害が発生してきており、今後の被害対策に向けた準備を整えていく必要が生じている。

2 森林病虫害等防除実証事業（海岸防災林）について

上記課題への対応として、県内海岸防災林における松くい虫防除の実証事業を行う。

■ 事業概要

(1) 令和5年度事業

① 薬剤散布候補地の設定

仙台、東部、気仙沼管内の海岸防災林から7箇所（各5ha）程度抽出。

② 社会的特性調査

薬剤散布候補地の周辺区域における保全対象の調査を実施。

③ 環境調査

薬剤散布候補地及び隣接地の植物・昆虫の生息状況調査を実施。

※令和6年度に繰越予定。

(2) 令和6年度事業

① 薬剤散布の実施

令和5年度に抽出した7箇所について薬剤散布を実施。実施方法については検討中。無人ヘリによる散布を予定。

② 環境影響調査

散布前後における大気、水質、昆虫影響調査を実施。

上記事業の実施における詳細については、検討中。

仙台市：荒浜海岸防災林



気仙沼市：尾崎千岩田海岸防災林

